

おいしい土佐の魚食べてみて！ ～全国会議のレセプションで土佐の魚をPR～

高知県海洋局

かつお通信

高知市丸の内
高知県海洋局
発行人 久保田寿一
編集人 海洋企画課
定 価 無料

女性部連合会とは
高知県漁協女性部連合協議会は、県内各地の漁協女性部を総括する組織で、魚食普及や環境美化活動などに積極的に取り組んでいます。
特にかつお通信1号でご紹介した小学生のタタキ体験を始めとする魚食普及活動は、事業の柱として、事務局を務める県信用漁業協同組合連合会はもちろんのこと、県漁港漁場協会や海洋局なども連携しながら取り組んでいます。



かつおのぼりと大漁旗でアピール！

本県の水産業の底上げのためには、直接的な様々な振興策が有効であることはもちろんですが、効果が遠い、または効果が見えにくい様に思われる魚食普及や販売促進なども重要な取り組みです。
今回は、高知県漁協女性部連合協議会が、5月下旬に高知市で開催されたある全国会議レセプションの一角にブースを借りて行った、「おばちゃんによる土佐の魚全国PR事業」の取り組みについて紹介します。

これは言いけど何？

当日は各漁協女性部の方々が各地で水揚げされた新鮮なキンメダイ、トロメ、カツオ、キビナゴなどを会場のホテルに持ち込み、刺身や煮付けなど計二十種類の料理を用意、乾杯のかけ声とともに、PRブースには全国から来高された方々の長蛇の列。瞬く間に売り切れる料理が出たり、カツオの湯かけごはんなどは作るの間に合わないほどの盛況ぶり。土佐の魚の美味しさを堪能して頂きました。



大盛況！！

海洋局では、これまで、かつおのタタキ体験などを通じ、都市と漁村の交流を推進してきましたが、漁村地域の活性化や雇用の創出のためには、これらの取り組みが経済的に成り立つことが必要だと考えています。
このため、今年度からこれらの取り組みを支援する体制や仕組みの確立を目的とした「みなとまち活性化支援事業」を新たに起こし、局内のワーキングチームを組織してこれらの取り組みをお手伝いする中で、ブルーツーリズムや観光の視点も取り入れながら漁村の活性化の方向を見出して行くこととしています。

交流の重要性



絶品！佐賀の漁師の温タタキ！

各漁協女性部の方々は、地元産の魚の宣伝も抜かりなく、漁獲方法やレシビなどをPRするほか、PRブースでもチラシやポスターでアピールしました。



皆さんお疲れさまでした

継続は力なり

効果が遠い、見えにくいこれらの取り組みですが、鮮烈な本物体験は、確実に「土佐の魚」ファンを増やします。業界と行政が連携し、より経済的、効果的なPR手法を構築することで、継続していける取り組みになるよう期待しています。



PRブースで各種チラシを配布

【編集後記】
平均寿命、陣痛を越えての出産など生物学的にも、宇宙を治める天照大神など神話の世界でも女性には全く歯が立たない。勿論、宇宙最強のうちの財務大臣にも歯が立ちません。

【コラム】
「はちきんパワー」
古来より「はちきん」という言葉に代表されるように土佐の女性のパワーには目を見張る物がある。本県の女性就業率の高さは経済力と裏腹の面はあるが、最近の漁村における女性の取り組みを見るにつけその感を強くした。現場の漁業指導所の話でも、男性をまとめて引く張るより、やはり女性の方が早く団結し、実際の行動に結びつくとも聞く「はちきん」に負けない「はちきん」の奮起を期待する。

漁業経営のことなら、今すぐお電話を！
専門アドバイザーが、漁業経営、流通改善について無料でご相談に応じます。まずはお電話を！
漁業経営指導協会 tel088-825-3980
上原アドバイザー tel090-1570-1904



きれいな漁場を次の世代に 適正給餌に努めましょう 漁場へのゴミ投棄はやめましょう